【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公表番号】特表2011-500371(P2011-500371A)
【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)
【年通号数】公開・登録公報2011-001
【出願番号】特願2010-529993(P2010-529993)
【国際特許分類】
Ｂ４３Ｋ　24/02　　(2006.01)
Ｂ４３Ｋ　23/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４３Ｋ　24/02
Ｂ４３Ｋ　 9/00　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年7月22日(2011.7.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
中空のチャンネルと、開口端及び閉鎖端と、を有するバレルと、
中空のチャンネル内を摺動自在に可動であり、ペン先を有し且つインクリザーバと流体連通するカートリッジと、
バレルにピボット廻動自在に取り付けられ、キャップ閉位置と筆記用開位置との間でピボット動作自在の第１のアームと、
第１のアームに装着され、該第１のアームをキャップ閉位置とした場合にバレルの開放端を閉じるようになっているキャップと、
中空のチャンネル内に配置され且つ第１のアームに連結した第１のギヤと、
を含む用具。
【請求項２】
第１のアームと反対側でバレルにピボット廻動自在に取り付けられ且つキャップに装着した第２のアームを更に含み、キャップがキャップ閉位置から筆記用開位置に移動されるに従い、第１のアーム及び第２のアームが相互にピボット動作する請求項１の用具。
【請求項３】
カートリッジ上に配置したスリーブを更に含み、該スリーブが、スリーブの外側表面から突出する歯を有し、第１のアームがピボット動作するに際して該歯と第１のギヤとが協働してカートリッジを伸張させ及び引き込ませる請求項１の用具。
【請求項４】
第１のギヤとスリーブとの間に配置した第２のギヤを更に含む請求項３の用具。
【請求項５】
第１のギヤ及び第２のギヤが異なる円周を有する請求項４の用具。
【請求項６】
第１のギヤ及び第２のギヤの円周比が約２：１である請求項５の用具。
【請求項７】
バレルの外側表面に把持用部分を更に有する請求項１の用具。
【請求項８】

ペン先が万年筆用ペン先を含む請求項１の用具。
【請求項９】
キャップの内側表面上に配置したシールを更に含む請求項１の用具。
【請求項１０】
キャップ上に配置した整合用切り欠きを更に含む請求項１の用具。
【請求項１１】
バレルの開放端上に配置した整合用ショルダーを更に含み、第１のアームをキャップ閉位置とした場合に、該整合用ショルダーが整合用切り欠きに嵌入する請求項１０の用具。
【請求項１２】
キャップ閉位置及び筆記用開位置の何れにおいても整合位置に弾発的に配置される請求項１０の用具。
【請求項１３】
バレルが、連結セクションにより連結された前方バレルセクション及び後方バレルセクションを含む請求項１の用具。
【請求項１４】
連結セクションが、第１のアーム上に配置した軸を受けるようになっている開口を含む請求項１３の用具。
【請求項１５】
開口がフランジと柱脚とにより包囲され、該フランジ及び柱脚が第１のアームと協働して該第１のアームを連結セクション上で安定化させる請求項１３の用具。
【請求項１６】
ペン先が、ボール状チップで終端する可撓性の角張ったペン先を含む請求項１の用具。
【請求項１７】
ペン先が貴金属性である請求項１６の用具。
【請求項１８】
筆記具、修正液アプリケーター、ペイントアプリケーター、から成る群から選択される請求項１の用具。
【請求項１９】
筆記具であって、
中空のチャンネルと、開口端及び閉鎖端と、を有するバレルと、
中空のチャンネル内を摺動自在に可動であり、ペン先を有し且つインクリザーバと流体連通するカートリッジと、
バレルにピボット廻動自在に取り付けられ、キャップ閉位置と筆記用開位置との間でピボット動作自在の第１のアーム及び第２のアームと、
第１のアーム及び第２のアームに装着され、該第１のアーム及び第２のアームをキャップ閉位置とした場合にバレルの開放端を閉じるようになっているキャップと、
中空のチャンネル内に配置され且つ第１のアームに連結した第１のギヤと、
を含む筆記具。
【請求項２０】
バレル内部の一対のギヤにして、第１のアーム及び第２のアームの一方に各々連結され且つ複数のギヤ歯を含む一対のギヤを更に含む請求項１９の筆記具。
【請求項２１】
カートリッジの一部の周囲に配置したスリーブにして、複数のスリーブギヤ歯を含むスリーブを更に含む請求項１９の筆記具。
【請求項２２】
ギヤ歯とスリーブギヤ歯とが協働してカートリッジをバレル内で長手方向に摺動させる請求項２１の筆記具。
【請求項２３】
第１のアーム及び第２のアームをキャップ閉位置とするとペン先がバレル内に引き込まれ、第１のアーム及び第２のアームを筆記用開位置とするに従いペン先がバレルの外側に

伸張される請求項１９の筆記具。
【請求項２４】
万年筆であって、
中空のチャンネルと、開口端及び閉鎖端と、を有するバレルにして、連結セクションにより連結した、後方バレルセクション及び前方バレルセクションを含み、連結セクションが、中央部分と、該中央部分よりも小外径の２つの端部とを含むバレルと、
連結セクション内に配置した一対の開口と、
該一対の開口を貫いてバレルに回転自在に取り付けた一対のアームと、
該一対のアームの各々に結合したキャップと、
バレル内に配置され、各アームに結合した一対のギヤにして、アームがピボット廻動するに従い各々回転し、各々が複数のギヤ歯を含むギヤと、
バレル内を摺動自在に移動するインクカートリッジにして、万年筆ペン先と流体連通するインクリザーバと、
インクカートリッジの一部の周囲に配置したスリーブにして、一方のギヤの複数のギヤ歯と歯合する複数のスリーブギヤ歯を含むスリーブと、
を含み、
各アームをキャップ閉位置とすると前記キャップがバレルの開口を閉じ且つシールし、各アーム及びキャップが、キャップ閉位置から離れる方向で筆記用開位置にピボット廻動すると各ギヤが回転し、かくしてインクカートリッジがバレル内で長手方向に駆動され、ペン先が開口を越えて外側に伸延される万年筆。